

科目名称	グローバル・プロジェクトⅠ				ビジネス・キャリア	( )	オフィス情報	( )	
英文科目名称	Global Project I				グローバル・コミュニケーション	(必)	医療事務・医療秘書	( )	
科目コード	590124	授業形態	演習	単位数	2	ホテル・観光	( )	大学編入	( )
教員氏名	横堀 仁志		年次配当	2年次	前期				
実務経験教員担当	有・ <input checked="" type="radio"/>		アクティブラーニング		<input checked="" type="radio"/> ・無				
授業概要 及び授業方法	<p>この授業の主な目的は、学生が自分の働きたい企業や業種についてリサーチし、考察を加え、プレゼンテーションできるようにするのを支援することである。プレゼンは個人単位で行い、PowerPointを使用する。最終的なプレゼンの主な使用言語は英語とする。企業・業種についてのリサーチは原則として授業外で行う。</p> <p>考察を行う際は、最低1個所はグローバルな視点に立ったものとする。例えば、自分が取り上げた企業が環境に優しい取り組みをしていると仮定する。考察をする際、その企業内における環境に優しい具体的な取り組み内容を列挙するだけでなくとどまらず、世界の環境問題に目を向けて、現状や問題点、各国やグローバル企業の取り組みなどについてもリサーチする。そしてそれらが、自分が取り上げた企業が取り組んでいる内容とどのような関係にあるか、何が言えるか、などというような考察を行ってもらおう。その結果を基に、自分が取り上げた企業や地方自治体などに対して何らかの提言を行えるかを検討する。</p> <p>このように、自分の働きたい企業や業種についてリサーチ・考察することで、単にその企業・業種に関する調査にとどまらず、グローバルな視点に立った考察および提言（アクションプランなど）へと導いて行ってほしい。</p>								
関連する科目	グローバル・プロジェクトⅡ				卒業認定(学習成果)との関連		①, ②, ③, ④, ⑤, ⑥		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション（授業の進め方、評価方法の説明）</li> <li>2. 企業・業種についてのBrainstorming (1) アイデア出し</li> <li>3. 企業・業種についてのBrainstorming (2) アイデアの結合改善</li> <li>4. 選んだ企業・業種に関する発表とディスカッション（学生A～E）</li> <li>5. 選んだ企業・業種に関する発表とディスカッション（学生F～J）</li> <li>6. 日本語によるプレゼンテーションと指導者によるアドバイス（学生A～D）</li> <li>7. 日本語によるプレゼンテーションと指導者によるアドバイス（学生E～H）</li> <li>8. 日本語によるプレゼンテーションと指導者によるアドバイス（学生I～J）</li> <li>9. 英語によるプレゼンリハーサル1回目（学生A～E）</li> <li>10. 英語によるプレゼンリハーサル1回目（学生F～J）</li> <li>11. 英語によるプレゼンリハーサル2回目（学生A～E）</li> <li>12. 英語によるプレゼンリハーサル2回目（学生F～J）</li> <li>13. 英語によるプレゼン本番1回目（学生A～E）</li> <li>14. 英語によるプレゼン本番2回目（学生F～J）</li> <li>15. プレゼン本番へのフィードバック、良い発表の特徴</li> </ol>								
授業時間外の学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が働きたい企業や業種についてリサーチし、考察する。</li> <li>・自分が働きたい企業や業種についてのプレゼン資料を作成し、発表練習を行う。（毎週約2時間の学習を想定）</li> </ul>								
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が働きたい企業や業種について、主に英語で5分程度のプレゼンテーションができる。</li> <li>・企業の取り組みなどをグローバルな視点から考察し、世界規模の問題・課題についての理解を深める。</li> <li>・他の受講生のプレゼンを聞いて、多様なものの見方・考え方を身につけることができる。</li> </ul>								
課題に対するフィードバック	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原稿の添削指導を行う。</li> <li>・プレゼンテーション・スライドにコメントする。</li> </ul>				評価方法・基準		本番プレゼンテーション（50%） 日本語プレゼンテーション（30%） 参加点（20%）		
テキスト	開講時に指示する。								
参考書	随時、授業で紹介する。								
備考									

科目名称	グローバル・プロジェクト I				ビジネス・キャリア ( )	オフィス情報 ( )
英文科目名称	Global Project I				グローバル・コミュニケーション (必)	医療事務・医療秘書 ( )
科目コード	590124	授業形態	演習	単位数	2	
教員氏名	水島 孝司		年次配当	2年次	前期	ホテル・観光 ( ) 大学編入 ( )
実務経験教員担当	有・ <input checked="" type="radio"/> 無		アクティブラーニング		<input checked="" type="radio"/> 有・無	
授業概要 及び授業方法	<p>この授業の主な目的は、学生が自分の働きたい企業や業種についてリサーチし、考察を加え、プレゼンテーションできるようになるのを支援することである。プレゼンは個人単位で行い、PowerPointを使ってもらう。主たる発表言語は日本語とする。取り上げる企業などについてのリサーチは、原則として授業外で行ってもらう。考察はグローバルな視点を交えて行うものとする。また、企業などの事業活動・社会貢献活動とSDGs (Sustainable Development Goalsの略語；持続可能な開発のために国連が定めた国際社会の目標) との関係についても調べ、考察してもらう。SDGsに挙げられた各種の目標・課題を「自分ごと」として捉えることができる当事者としての意識も涵養したい。</p> <p>学生が調べて発表した内容は、クラス全体でのディスカッションを通して深めていく。以上のような活動を通して、Think globally, act locally. (地球規模で考えて、足元から行動する) を実践できる人材を養成したい。</p>					
関連する科目	グローバル・プロジェクト II				卒業認定(学習成果)との関連	①, ②, ③, ④, ⑤, ⑥
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション (授業の進め方、評価方法の説明)</li> <li>2. 最終成果物の確認 (先輩のプレゼンテーションなどから学ぶ)、SDG1</li> <li>3. 新聞記事発表[グループ]、SDG2</li> <li>4. 新聞記事発表[グループ]、SDG3</li> <li>5. 外部講師によるSDGsに関連した講義 (1回目)</li> <li>6. 新聞記事発表[グループ]、SDG4</li> <li>7. 新聞記事発表[グループ]、SDG5</li> <li>8. 外部講師によるSDGsに関連した講義 (2回目)</li> <li>9. プレゼンリハーサル1回目 (学生A~D)</li> <li>10. プレゼンリハーサル1回目 (学生E~H)</li> <li>11. プレゼンリハーサル2回目 (学生A~D)</li> <li>12. プレゼンリハーサル2回目 (学生E~H)</li> <li>13. プレゼン本番1回目 (学生A~D)</li> <li>14. プレゼン本番2回目 (学生E~H)</li> <li>15. プレゼン本番へのフィードバック、良い発表の特徴</li> </ol>					
授業時間外の学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が働きたい企業や業種についてリサーチし、考察する。</li> <li>・自分が働きたい企業や業種についてのプレゼン資料を作成し、発表練習を行う。</li> <li>・グループ発表用の新聞記事を探し、発表の準備をする。</li> </ul> <p>(学習に係る標準時間は週約2時間)</p>					
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が働きたい企業や業種について、5分程度のプレゼンテーションができる。</li> <li>・プレゼンで取り上げる内容をグローバルな視点を交えて考察することができる。</li> <li>・SDGsに関する基礎的な知識を身につけて、人に説明することができる。</li> <li>・他の受講生のプレゼンを聞いて、多様なものの見方・考え方を身につけることができる。</li> <li>・明瞭かつ論理的な日本語表現スキルを身につけることができる。</li> </ul>					
課題に対するフィードバック	プレゼンテーションのスライドについてコメントしたり、読みあげ原稿を添削する。				評価方法・基準	プレゼンテーション(50点)、新聞記事発表(10点)、参加度(30点)、自己評価(10点)
テキスト	開講時に指示する。					
参考書	随時、授業で紹介する。					
備考						